



令和元年8月30日
内閣府（防災担当）

永田クラブ、経済研究会へ資料配布
国土交通記者会へ貼り出し

令和元年度 大規模地震時医療活動訓練について

1 訓練の趣旨

首都直下地震を想定し、首都直下地震における具体的な応急対策活動に関する計画（令和元年5月27日改定）、日本DMAT活動要領（平成28年3月31日改正）、大規模災害時の保健医療活動に係る体制の整備について（平成29年7月5日各都道府県知事あて厚生労働省（医政局長他）通知（技術的助言））等に基づく大規模地震発生時における医療活動に関する総合的な実動訓練を国、地方公共団体等が連携して実施し、当該活動に係る組織体制の機能と実効性に関する検証を行うとともに、防災関係機関相互の協力の円滑化を図る。

2 訓練の概要（訓練実施箇所ごとの訓練概要は、別紙参照）

実施日	令和元年9月6日（金）及び7日（土）
訓練想定	首都直下地震により、埼玉県、千葉県、東京都及び神奈川県に甚大な被害発生を想定
主な訓練項目	① 地域医療活動訓練の実施 （本部運営、域内搬送、参集拠点設置、SCU運営等） ② DMATの参集、活動訓練の実施 （被災想定4都県を除く43道府県のDMATが参加） ③ 広域医療搬送訓練の実施
参加機関等	内閣官房、内閣府、警察庁、消防庁、厚生労働省（DMAT事務局含む）、国土交通省、海上保安庁、防衛省、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構、国立研究開発法人防災科学技術研究所、日本赤十字社、東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、山形県、茨城県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、静岡県、愛知県、福岡県、公益社団法人全日本トラック協会 等

3 取材について

(1) 問合せは、次の区分によりそれぞれの問合せ先へお願いします。

①訓練概要のうち、

- ・ 訓練実施全体は、下記問合せ先「3 厚生労働省DMA T事務局」へ
- ・ 都県の訓練内容等は、別紙「(都県)の訓練概要」の各参加都県担当課へ
- ・ 都県以外の参加機関等への取材希望は、下記問合せ先「1 内閣府②」へ

②訓練の趣旨のうち、

- ・ 大規模災害時の医療体制、制度等は、下記問合せ先「2 厚生労働省」へ
- ・ 国の省庁の連携は、下記問合せ先「1 内閣府①」へ

③その他問合せ先が不明な場合等は、下記問合せ先「1 内閣府②」へ

(2) 訓練実施日における訓練実施場所での取材について

訓練実施場所での取材については、原則として入場登録等が必要です。

つきましては、その登録手続等について、9月3日(火)までにDMA T事務局又は各参加都県担当課にお問い合わせのうえ、申込手続をして下さい。

また、取材時には、訓練の妨げにならないよう、現地担当者の指示に従って下さい。

<問合せ先>

1 内閣府 (防災担当)

① 災害緊急事態対処担当 参事官補佐 西村哲也
TEL 03-3502-6047(直通)

② 地方・訓練担当 参事官補佐 笠井健司
TEL 03-3503-9394(直通)

2 厚生労働省医政局地域医療計画課

災害時医師等派遣調整専門官 西田 翼
TEL 03-3595-2194(直通)

3 厚生労働省DMA T事務局

(独立行政法人国立病院機構災害医療センター)
市原 正行
TEL 042-526-5701(直通)

DMATの訓練概要（案）

○訓練の目的

- 大規模災害への対応能力向上のため、DMATの組織的な運用を検証
- DMATの参集とニーズに応じた被災地への配分
- 被災地から被災地外への傷病者の医療搬送

○訓練内容

- 必要なDMAT本部の設置と運営
- DMATの参集拠点への参集
- DMAT本部及びDMATによる医療機関の調査、被害状況把握
- 広域災害級医療情報システム（EMIS）による医療機関の被害状況共有
- 医療機関への必要な支援活動実施
- 衛星電話・無線等の通信手段の活用
- これらに加え、広域医療搬送、地域医療搬送、SCU活動、機内活動等を組み合わせ実施
- 関係機関との連携

○DMATの参加について

- 被災地内の訓練参加医療機関（予定）：
199医療機関（1都3県合計）
（内訳）埼玉県：31機関、千葉県：40機関、東京都：83機関、神奈川県：45機関
（災害拠点病院、DMAT指定医療機関等）
- 訓練プレイヤー（被災地外からの支援DMAT）
（予定）：319病院、331チーム、約1,600名
- 訓練コントローラー（予定）：約440名
（DMATインストラクター等）
- ドクターヘリ：埼玉県ドクターヘリ、千葉県南部ドクターヘリ、神奈川県ドクターヘリ、長野県東部ドクターヘリ

○訓練日程

- 9月6日（金）11時～：DMAT事務局及び被災地内のDMAT本部の設置、DMATの各都県への配分等の本部間の連絡調整訓練を実施
- 9月7日（土）終日：DMATが被災地に参集し、災害拠点病院等での実動訓練を実施

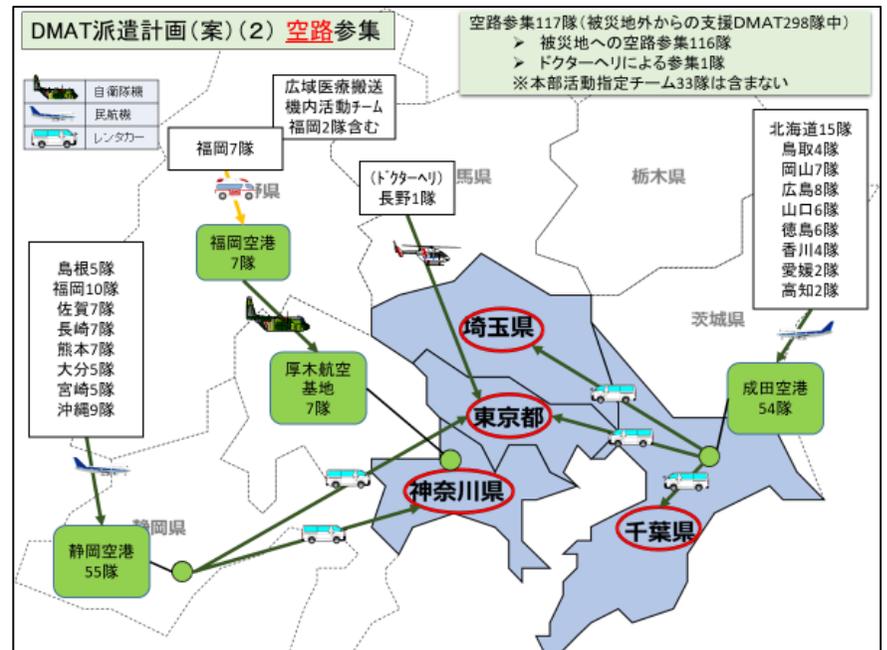
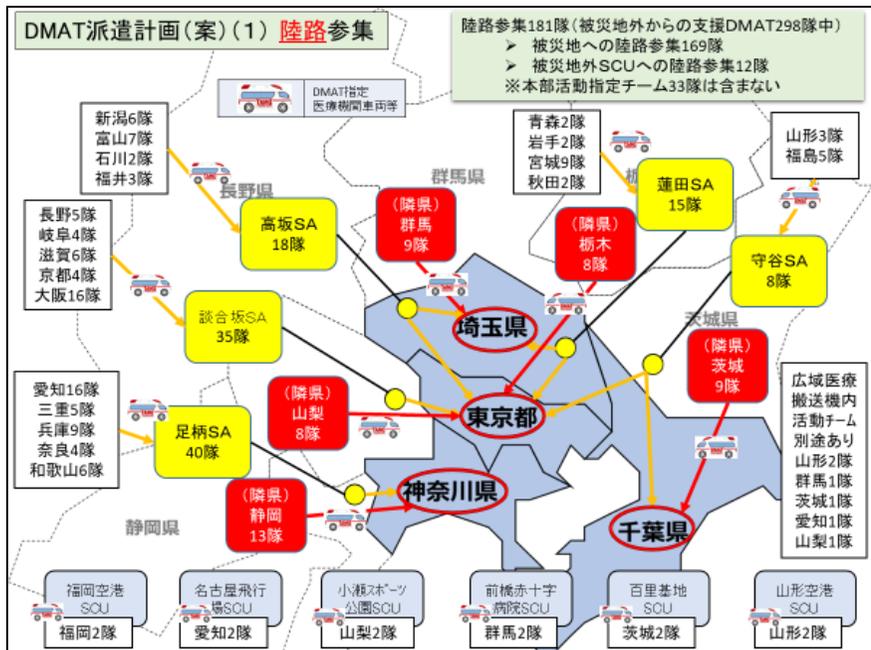
○DMATの被災地への参集方法

- 北海道、中国、四国、九州・沖縄ブロック：空路参集（自衛隊機または民航機利用）
- 東北、関東、中部、近畿ブロック：陸路参集
- 民航機により空路で参集するDMATは、被災地側の空路参集拠点からレンタカー等により被災地内を移動

○DMATの参集拠点

- 陸路の参集拠点：被災地域内の災害拠点病院等、東北自動車道蓮田SA上り（埼玉県）、常磐自動車道守谷SA上り（茨城県）、関越自動車道高坂SA上り（埼玉県）、中央自動車道談合坂SA上り（山梨県）、東名高速道路足柄SA上り（静岡県）
- 空路の参集拠点：成田国際空港（千葉県）、静岡空港（静岡県）、福岡空港（福岡県）

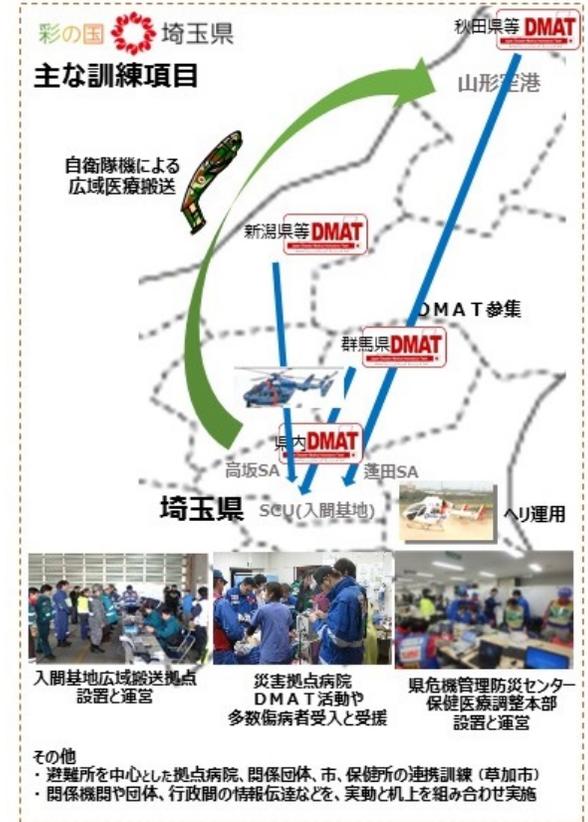
4



埼玉県の訓練概要

- 日時：令和元年9月7日（土）7時30分開始
- 場所：埼玉県危機管理防災センター、県内災害拠点病院、航空自衛隊入間基地、他
- 訓練想定：東京湾北部地震、県内最大震度6強
- 訓練概要：SCU（入間基地）設営、DMAT受入・派遣、ドクターヘリ及び防災ヘリ、県警察ヘリ、自衛隊ヘリによる患者等搬送、仮想避難所における診療、後方支援
- 訓練参加機関等
災害拠点病院などの医療機関、日本赤十字社埼玉県支部、航空自衛隊・陸上自衛隊、警察、関係消防本部、災害時応援協定事業者、看護学生ほか

参加医療機関（予定）・・・31機関
参加DMAT数（予定）・・・約30チーム
（他県からの支援DMATは20チーム程度の予定）
参加者数（予定）・・・500名程度

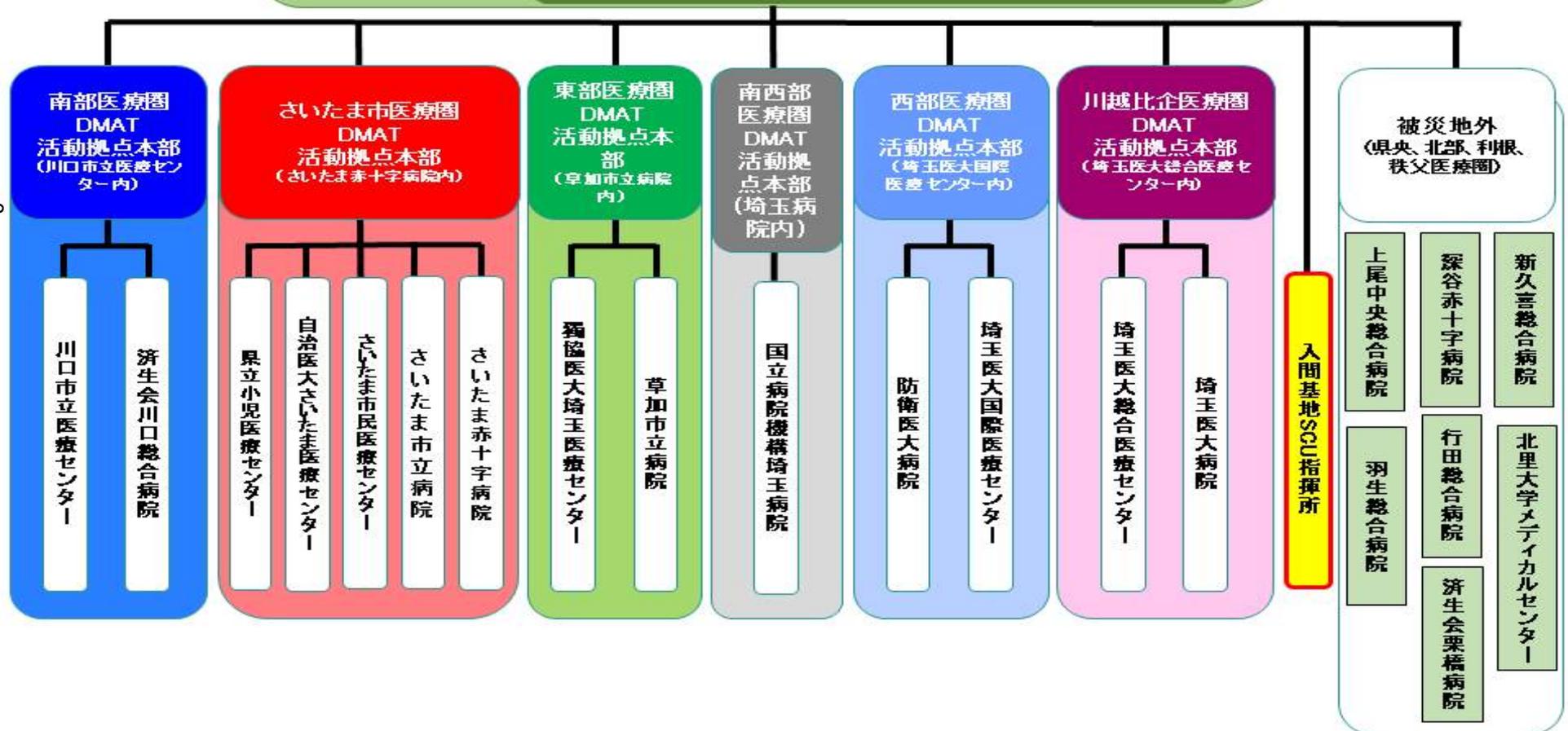


取材場所等に関する問合せ先
埼玉県保健医療部医療整備課
TEL：048-830-3643
内線3642

組織図

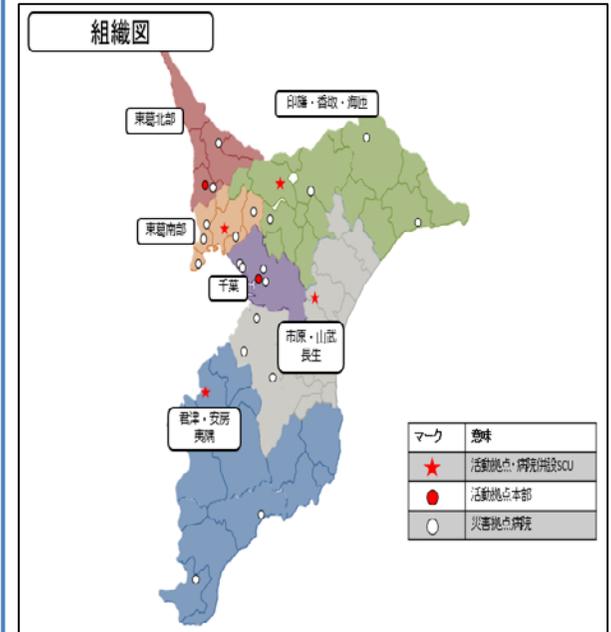
埼玉県保健医療調整本部

埼玉県DMAT調整本部



千葉県訓練概要

- 日時：令和元年9月7日（土）7時00分開始
 - 場所：千葉県庁、県内各災害拠点病院
 - 訓練想定
千葉県北西部を震源とする地震
 - 訓練概要
本部運営、域内搬送、参集拠点設置、SCU運営、DMAT参集、DMAT活動、広域医療搬送DPAT・小児周産期リエゾン等との連携
 - 訓練参加機関等
千葉県、厚生労働省DMAT事務局、保健所、市、災害拠点病院、DPAT、小児周産期リエゾン 等
- 参加医療機関（予定）・・・40
参加DMAT数（予定）・・・40チーム
（他県からの支援DMATは00チーム）
参加者数（予定）・・・1,000名程度



取材場所等に関する問合せ先
千葉県健康福祉部医療整備課
TEL：043-223-3886

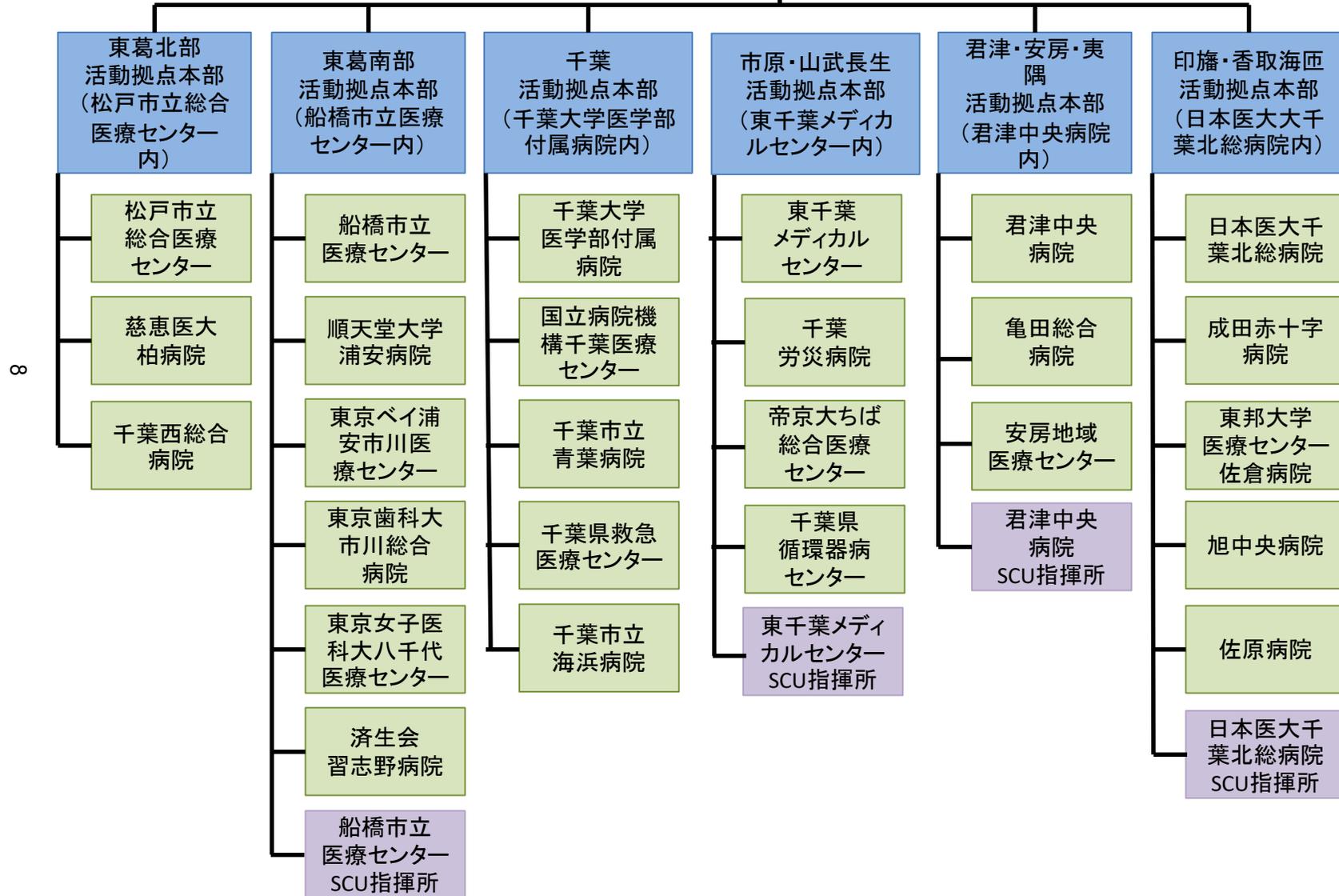
指揮系統図

千葉県災害健康福祉部 (千葉県DMAT調整本部)

DMAT事務局

守谷SA
参集拠点

成田空港
参集拠点



(東京都) の訓練概要

○日時：令和元年9月7日(土) 7時30分開始

○場所：東京都全域

○訓練想定

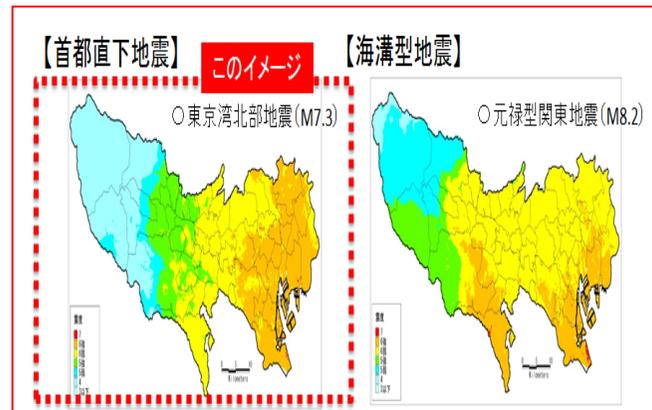
首都直下地震(M7.3(暫定値) 最大震度7)

○訓練概要

医療対策拠点の円滑な立ち上げ・運営、災害拠点病院の傷病者受入、地域医療搬送(空路・陸路)、SCU設置、広域医療搬送(大型回転翼機)、東京DMATの展開、EMIS入力訓練等

○主な訓練参加機関等

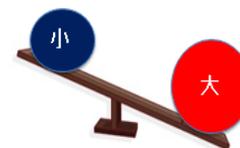
東京都、災害拠点病院、日本赤十字社東京都支部、民間搬送事業者、東京消防庁、中日本航空、自衛隊



今回の想定(東京では)

都心南部直下型地震(M7.3)が発生し、
区部が主に被災(被害大)

西(市部)



東(区部)

取材場所等に関する問合せ先
東京都福祉保健局医療政策部 救急災害医療課
TEL:03-5320-4445

(東京都) の体制図

東京都の災害医療体制

(都庁)
「東京都災害医療コーディネーター」

医療対策拠点 (DMAT活動拠点本部含む) 区部7カ所、市部5カ所

地域災害医療コーディネーター

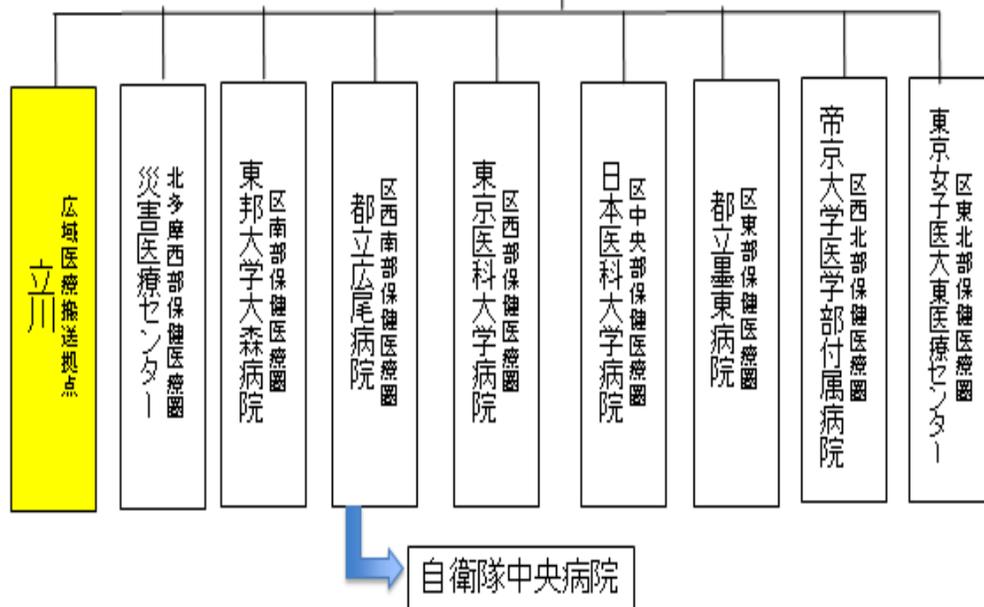
- ・日本医科大学付属病院
- ・東邦大学医療センター大森病院
- ・東京都立広尾病院
- ・東京医科大学病院
- ・帝京大学医学部附属病院
- ・東京女子医科大学東医療センター
- ・東京都立墨東病院
- ・青梅市立総合病院
- ・東京医科大学八王子医療センター
- ・国立病院機構災害医療センター
- ・東京都立多摩・小児総合医療センター
- ・公立昭和病院

基幹災害拠点病院、地域災害拠点中核病院

災害拠点病院

東京都庁
東京都災害医療コーディネーター
東京都DMAT調整本部

令和元年度訓練 東京都系統図



神奈川県の訓練概要

- 日時：令和元年9月7日（土）7時00分開始
- 場所：神奈川県庁、横浜市役所、川崎市役所、海上自衛隊厚木航空基地、各災害拠点病院、各災害協力病院 ほか
- 訓練想定
首都直下地震（県内最大震度6強）
- 主な訓練概要
本部運営訓練、病院訓練、SCU設置運営・広域医療搬送訓練、地域SCU設置運営・地域医療搬送訓練、ロジスティクス訓練等
※横浜市、川崎市に「（仮）DMAT準調整本部」を設置し、市内のDMAT調整訓練を試行的に行う。
- 訓練参加機関等
神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市、災害拠点病院・災害協力病院等医療機関（45機関）、神奈川県警察本部、関係消防本部、海上保安庁、自衛隊、在日米軍、日本赤十字社神奈川県支部、その他関係団体

取材場所等に関する問合せ先
神奈川県健康医療局保健医療部健康危機管理課
TEL：045-210-4634

神奈川県訓練概要



首都直下地震による震度分布

山形県の訓練概要

令和元年度 山形空港SCU(※)設置運営訓練

○日時：令和元年9月7日(土)正午開始(予定)

○場所：山形空港(山形県東根市大字羽入字柏原新林3008番地)

○訓練想定：首都直下地震

○訓練概要

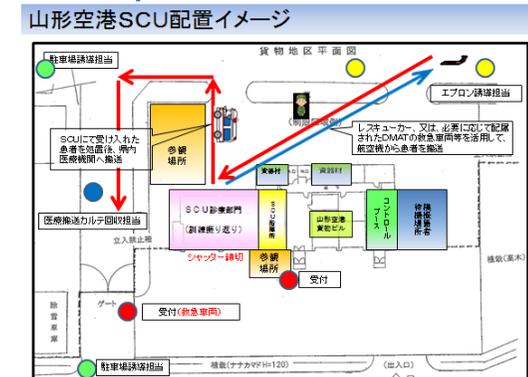
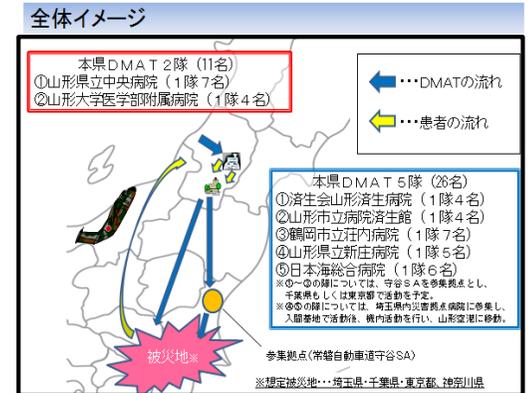
SCU設置運営訓練

〔項目：SCUの設置・展開、SCUにおける患者受入・処置、搬送調整、患者搬送等〕

○訓練参加機関等

県内DMAT指定医療機関(7)、天童市、東根市、最上広域市町村圏事務組合消防本部、東根市消防本部、日本赤十字社山形県支部、陸上自衛隊第6師団、山形空港ビル株式会社、山形県等

※SCU … Staging Care Unitの略
航空搬送拠点臨時医療施設



【問合せ先】山形県健康福祉部
地域医療対策課地域医療対策担当
TEL023-630-2256

茨城県の訓練概要

令和元年度 茨城県・百里基地SCU運営訓練

- 日時：令和元年9月7日（土）9時30分開始
- 場所：航空自衛隊・百里基地，茨城県庁・本庁舎
- 訓練想定：首都直下地震
- 訓練概要

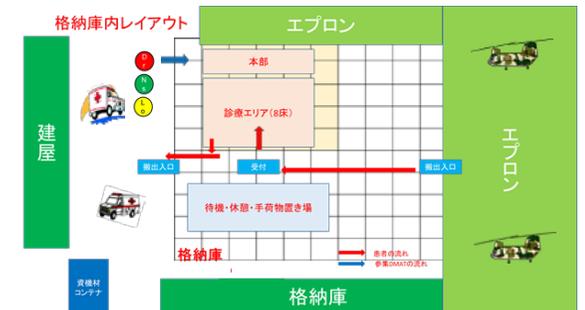
茨城県DMAT調整本部の設置運営
百里基地SCU指揮所及び診療部門の設置運営

○訓練参加機関等

【DMAT：3医療機関 25名】

独立行政法人国立病院機構水戸医療センター
水戸済生会総合病院，総合病院土浦協同病院

【航空自衛隊：約30名，厚生労働省DMAT事務局，茨城県】



取材場所等に関する問合せ先
茨城県 保健福祉部 厚生総務課
TEL：029-301-3129

群馬県の訓練概要

- 日時：令和元年9月7日（土）8時開始
- 場所：前橋赤十字病院（前橋市朝倉町389-1）
- 訓練想定
首都直下地震
- 訓練概要
被災都県からの傷病者受入を想定して
 - ・SCU運用訓練
（SCU：広域医療搬送臨時医療施設）
 - ・保健医療調整本部活動訓練（県としての調整）
を実施
- 訓練参加機関等
前橋赤十字病院、群馬中央病院、消防機関、群馬県

広域医療搬送 概略図
（群馬県受け入れ）



取材場所等に関する問合せ先
群馬県 健康福祉部 医務課
TEL：027-226-2534

山梨県の訓練概要

山梨県（被災地外SCU）訓練

○日時：令和元年9月7日（土）12時00分開始

○場所：小瀬スポーツ公園（山梨県甲府市）
中銀スタジアム及び補助競技場

○訓練概要

SCU設営及び運営訓練・傷病者受入訓練（自衛隊機受入）

○訓練参加機関等

11病院（DMAT指定病院）、自衛隊

※上記11病院のうち、小瀬スポーツ公園で活動するDMATチームと、被災地内等で活動するDMATチームがあり。



取材場所等に関する問合せ先
山梨県 福祉保健部医務課 医療整備担当
TEL：055-223-1483

静岡県の訓練概要

- 日時：令和元年9月7日（土）午前7時開始
- 場所：富士山静岡空港（静岡県牧之原市坂口）
- 訓練想定
首都直下地震
- 訓練概要
 - ・民間航空機利用による被災地外のDMAT参集拠点の設置・運営訓練
 - ・緊急通行車両確認標章発行訓練
- 訓練参加機関等
静岡DMAT、各県DMAT（島根、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、沖縄）計55チーム（予定）、
牧之原警察署、富士山静岡空港株式会社



取材場所等に関する問合せ先
静岡県健康福祉部地域医療課
TEL：054-221-2348

愛知県の訓練概要

- 日時：令和元年 9月7日（土）午前9時開始
- 場所：県営名古屋空港（名古屋空港ビルディング（株）本社1階多目的ホール）
- 訓練想定
首都直下地震
- 訓練概要
 - ・SCU設置・運用訓練
 - ・広域医療搬送訓練
（被災地からの患者の受入） 等
- 訓練参加機関等
 - ・小牧市民病院、春日井市民病院、愛知県 等



取材場所等に関する問合せ先
愛知県 保健医療局 健康医務部 医務課
TEL：052-954-6628

福岡県の訓練概要

令和元年度 福岡空港広域医療搬送訓練

○日時：令和元年9月7日（土）9時00分開始

○場所：航空自衛隊春日基地飛行場地区（福岡空港内）

○訓練想定：首都直下地震

○訓練概要

- ① (1) 福岡空港から厚木航空基地へ自衛隊機にてDMATを派遣
- (2) 航空自衛隊春日基地飛行場地区にSCUを設置
- (3) 自衛隊機で搬送された模擬患者を福岡空港内SCUに受入れ
- (4) 模擬患者を災害拠点病院へ救急搬送

※SCU（Staging Care Unit）：航空搬送拠点臨時医療施設

○訓練参加予定機関等

[病院] 久留米大学病院、小波瀬病院 等 全20施設

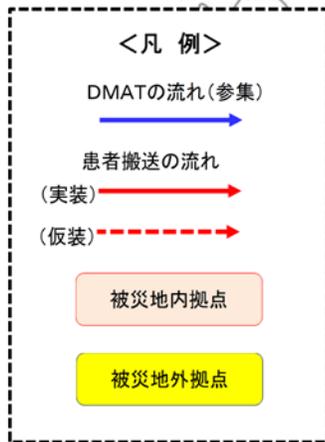
※ 上記から、DMAT19チームが実動

[その他] 航空自衛隊春日基地、福岡県、福岡市消防局
福岡県メディカルセンター
福岡国際空港株式会社

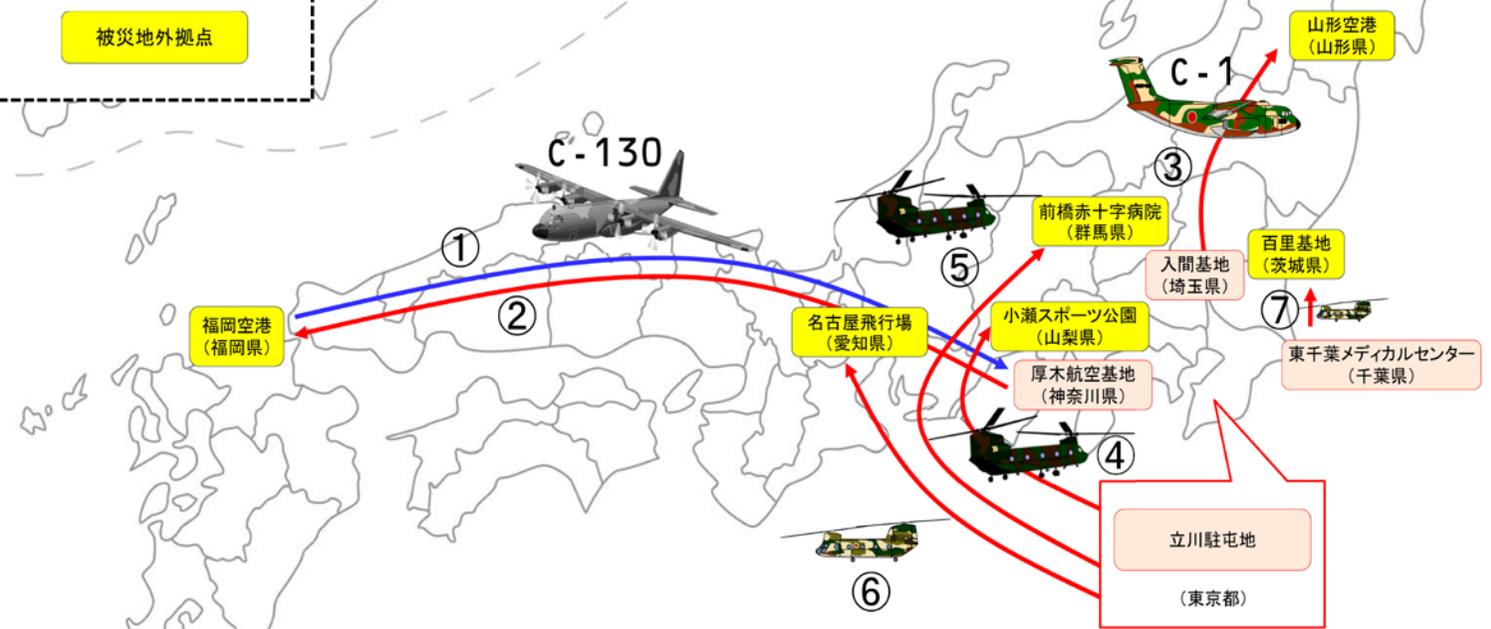
取材場所等に関する問合せ先
福岡県 保健医療介護部医療指導課
TEL：092-643-3273



広域搬送計画



目的		発SCU			着SCU		使用機体	備考
DMAT参集(空路)	①	福岡県	福岡空港	⇒	神奈川県	厚木航空基地	固定翼機 C-130	
広域医療搬送	②	神奈川県	厚木航空基地	⇒	福岡県	福岡空港	固定翼機 C-130	①の機体を使用
	③	埼玉県	入間基地	⇒	山形県	山形空港	固定翼機 C-1	
	④	東京都	立川駐屯地	⇒	山梨県	小瀬スポーツ公園	回転翼機 CH-47	陸総隊
	⑤	東京都	立川駐屯地	⇒	群馬県	前橋赤十字病院	回転翼機 CH-47	陸総隊
	⑥	東京都	立川駐屯地	⇒	愛知県	名古屋飛行場	回転翼機 CH-47	空総隊
	⑦	千葉県	東千葉メディカルセンター	⇒	茨城県	百里基地	回転翼機 CH-47	空総隊



- 遠隔地に所在するDMATチームが空路により被災地内へ参集
- 被災地内SCUから重症患者を被災地外SCUへ航空搬送